



6月4日に第三中学校区学校運営協議会がスタートしました。各学校から学校運営の基本方針と子どもたちをめぐる課題を説明していただき、これからコミュニティ・スクールで何ができるのかを話し合いました。日ごろから地域の方々には、見守り隊やゲストティーチャーなど様々な場面でお世話になっています。これからは、子どもたちもどんどん地域行事に参加し、子どもも大人も元気な町づくりを目指していききたいと思います。

## 外江小・伝統行事（丁左）学習

外江祇園祭「丁左」で

は、毎年4年生が「乗子」として神輿に乗って太鼓をたたきます。今年は祭りが中止になってしまいましたが、ゲストティーチャーとして古徳さんと植田さんにお越しいただき、丁左の歴史や太鼓のたたき方を教えていただきました。音楽室には、太鼓の音と4年生の「チョーサだ！」の音が響き渡りました。最後に古徳さんから、「今年は太鼓の音が聞けないと思っていたのに、ここで聞くことができました。お招きありがとうございます」と言っていただき、子どもたちもうれしそうでした。



## 渡小・図書館ボランティア

図書館では、本の汚れ落と

しや古くなった本のカバーを外すなどたくさんの作業があります。この日は、ラベルの張替えと初めてのラミネートを体験しました。作業が一段落すると、話題は自然と上の子の受験の話へ……。これからも情報交換の場としても、楽しく活動ができればと思います。



## 三中・ギャラリー開催

渡、外江郵便局さんで中学生

の美術作品を展示していただきました。公民館だよりもおしらせを載せていただいたところ、「ほとんどの行事が中止、中止の中、『三中ギャラリー開催！』が目にとまりました」と地域の方からの声を届けていただきました。職場体験学習や、スポーツの大会などが中止になりましたが、生徒たちは毎日学校で頑張っています。応援メッセージを書いていただいた方、ありがとうございました。



毎日、三中校区（渡、外江）を行ったり来たりしながら、たくさんの方々と一緒に活動をさせていただいています。

今まで学校や子どもたちに関わっておられなかった方もぜひ、学校に足を運んで、子どもたちの様子をご覧いただけたらと思います。（地域学校コーディネーター・高梨）